

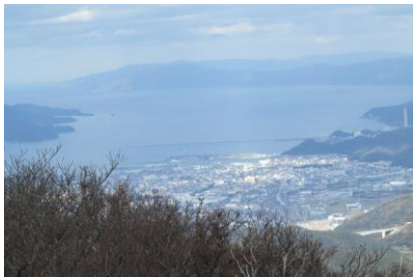
11月25日 岩籠山

平尾 繁和

山名	岩籠山 (765m)	山行名	例会		
ルート	駄口登山口～奥野山～P550～P708～山頂～インディアン平原～P708～P550～奥野山～駄口登山口				
山行日	2020年11月22日(日)	天候	晴れのち曇り		
参加者	CL:平尾 SL:佐々木 女性5名、男性7名 1班:平尾、廣瀬、玉井、永井、吉田、渡邊、2班:佐々木、西川洋、木田、玉置田中正、牧ノ瀬 /12名				
ルート概略	コースタイム				
省略	地名	時:分	地名	時:分	
	京田辺		インディアン平原	着	11:45
		発		6:20	発
	駄口登山口	着	P708	着	12:45
		発		9:00	発
	奥野山	着	奥野山	着	14:00
		発		9:33	発
	P708	着	駄口登山口	着	14:30
		発		11:00	発
	岩籠山	着	妹子の里	着	17:30
発		11:35			
<p>京田辺を出発、湖西道から国道161号を北へJR新疋田駅の手前、国道沿いのドライブイン跡の向かいにある駄口の広い駐車場につく。岩籠山は敦賀半島の西方ヶ岳と西にそびえる野坂岳とならび「敦賀三山」と呼ばれ人気のある山で、すでに3台程車がとまっていた。トイレは登山口に仮設用(2個)がある。登山口でコースを説明し、SLが準備体操をリードしてスタート。紅葉の盛りはすぎ多くの木は落葉しているが、シロモジ(クスノキ科)の黄葉が目についた。362mの三角点は、そばの木に奥野山と小さな看板が付けてある。550mピークを下ると、左に大きく展望が広がる平らな道にでる。高島トレイルの乗鞍岳、赤坂山など琵琶湖方面が一望。支尾根から右に折れてブナの林に入り落葉をふみしめながらいくと、左手前方奥にこの時期ならではのブナ林越しの岩籠山山頂が見えた。P708を越え急坂を上がり3等三角点のある岩籠山につく。北の眼下には敦賀湾、東には伊吹山から湖北、奥美濃の山並みが幾重にも重なり、西には野坂岳がそびえ、南は琵琶湖、高島トレイルに続く山並みと360度の展望が広がる。白山も見えると書いてあったがよくわからなかった。風がでてきて少し寒くなりインディアン平原に移動、長めの昼食タイムとする。巨岩が並び展望抜群。下山時に左手の大きな岩の所へ立ち寄り、岩の割れ目に頭を挟んで「はいポーズ!」写真を撮る。下山は来た道に戻る。急坂と落葉で滑りやすい道をゆっくり慎重に下る。ブナ林で休憩をはさみながら14時30分登山口に戻る。帰路は、3連休の中日ということもあり安曇川からと湖西道の真野手前からいつもの渋滞に輪をかけて渋滞していた。道の駅妹子の里で解散後、新田辺に到着したら19時を少し回っていた。天候に恵まれ初冬のブナ林をみんなで楽しく歩き、展望も楽しめました。日暮れが早いので遅くならないよう気を使いましたが、おかげで無事早目に下山ができました。お疲れさまでした。新緑の頃にまた訪れてみたい山です。次は日暮山まで足をのびしますか。</p> <p>参考:ヤママップ記録 5時間29分、6.6km、上り745m/下り743m</p>					
ヒヤリハット なし					



岩籠山山頂にて



眼下に敦賀湾を望む



インディアン平原



岩籠山を背後にインディアン平原で

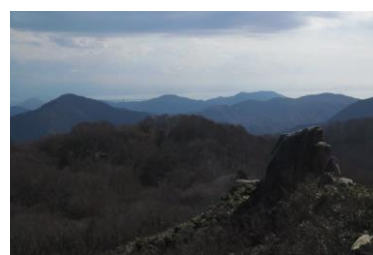




550m ピーク手前



湖北の展望が開ける



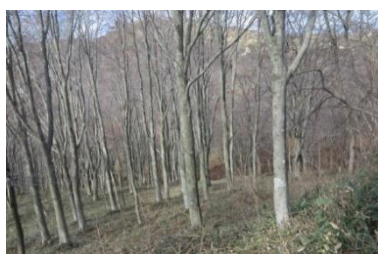
琵琶湖も見える



支尾根から P 708 に向かい右折



ブナ林の中を行く



ブナ林の向うに岩籠山山頂が



岩籠山頂からインディアン平原へ



何かの顔？



奥野山三角点 (362m)

## 感想文

玉置 安世

○人出が増えてきたので心配でしたが、山では出会う人も少なめでよかったです。紅葉はかなり進んでいて葉っぱは全部地面に。ブナ林も棒状態になり寒々していました。お昼から天気崩れる予報でしたが、雲一つない晴天。山頂付近では雲に隠れていた伊吹山も姿を現し、ススキが気持ちよさそうになびいていました。ジョーズ岩とか奇岩もあり山頂は別世界です。もう 11 月下旬になのにこの暖かさ。Men's2 名半袖。800 くらいなのに楽しませてくれる山です。新緑とか樹氷の季節もいいかも。同行のみなさまありがとうございます。運転手の方々、長距離と帰りの渋滞の中運転ありがとうございました。楽しい山行でした。

玉井美智子

○車 3 台で出発。急な登りとなり右にインディアン平原を見ながら山頂へ、敦賀湾と市街地が一望出来、天気にも恵まれて最高でした。インディアン平原の奇岩の中の顔がシャッターチャンス？もう少し早ければブナ林の紅葉がとても美しかったと思うと残念ですが、葉が全部落ちた後のブナ林も幹が綺麗で見ごたえがありました。いつも車の運転ありがとうございます。

吉田 文恵

○天気にも恵まれ晩秋にふさわしい山行でした。体力 2 で不安でしたが、山道もきつなく歩きやすく絶妙のタイミングで休憩が入り楽しい 1 日でした。頂上の名前がインディアン平原で誰がつけたのでしょうかね。次回新緑の頃にもう一度登りたい山の 1 つになりました。また、長時間運転していただきありがとうございました。

永井 繁一

○天気予報のとおり風は強く冷たかったが、曇り予想に反して青空が広がる、恵まれた山行だった。岩籠山 標高 765m。駄口登山口との高低差約 550m。愛宕山と比べると高低差は 250m 程少ないのに、登りは結構きつく感じた。紅葉は終わりかけており少し残念だったが、葉が落ちたブナの広がる景色は素晴らしかった。新緑の頃を思うと、太陽を受けて薄緑が鮮やかに広がる樹林が浮かんだ。山頂からは、北に若狭湾・敦賀の市街地、南東には琵琶湖 その奥には湖東の山並みも望む事ができる、360° パノラマを楽しんだ。またクマザサが生い茂るインディアン平原にはススキも見られ、晩秋を感じる風景を楽しんだ。落ち葉が積もった登山道の下りは、滑りそうになる事が何度かあり、どの山行でも下りは気が抜けないと改めて感じる。連休・紅葉・GoTo の影響だろうか、帰路の 161 号～湖西道路が大渋滞。長時間運転して頂いた車出し運転手の皆さん、大変お世話になりました。ご参加の皆さん、ありがとうございました。